



すてきなつながり

福寿会（ミニデイ）では、今年も卒園児の胸を飾るコサージュを作りました。昨年末から各地区ミニデイで少しずつ作り始め、一月十五日の東保育園での贈呈式には、ブルーとピンクのかわいいコサージュを完成することができ、大変喜んでもらえました。

贈呈式には町三区の皆さんが代表として参加され、お礼に園児たちから歌と手遊びの披露がありました。手遊びで触れ合った小さな柔らかい手、遠慮しながら大事そうに肩を叩いてくれた園児たちの手の温もりに、とても喜ばれ感動されていました。「またおじやましたいよ。」と元気をもらって帰ることができました。

このコサージュ作りは十数年続いていて細かい作業もありますが、お孫さんやひ孫さんの元気な姿を思い浮かべながら卒園の時季を感じたり、新一年生の生活を想像するなど色々な思いの詰まったものです。このコサージュ作りを通して小さな子供たちとふれあい、繋がりがもてるよい機会となっています。目に見えないですが、素敵な「つながり」を大切にしたいですね。

地域支え合いのつどい 地域のお宝大発表会

今年度村と社協主催で開催してきた「地域支え合いのつどい」(全三回)の最終回を二月十七日(土) 老人福祉センターにて開催しました。宮田村の支え合いをテーマに昨年同様、地域のお宝大発表会として、村内十三活動事例を紹介し、地域のお宝認定証をお渡ししました。当日は喫茶ありがどうの出前喫茶も出店頂き、老若男女約八十名が参加しました。会場内は大変賑わい、「ワイワイガヤガヤ」活動の情報交換ができました。

講師の酒井先生

第3回つどいの様子

地域支え合い推進員紹介



活動インタビュー

活動と支え合いの結びつきを考えました



地域のお宝認定証を贈呈しました。

～地域支え合い推進員の紹介～

- ・前林裕一(社協)
担当地区:町一区、町二区、大原区
- ・田中久美子(社協)
担当地区:町三区、つつじが丘区
- ・高山可代子(福祉課)
担当地区:北割区、南割区、新区
- ・黒沢香菜(社協)
担当地区:大田切区、大久保区、中越区、全村域



※第3回つどいで紹介した活動が掲載された冊子。

宮田村では平成二十七年度から地域支え合いづくりの取り組みを開始し、多くの皆様のご理解、ご協力を賜り、事業実施できたことを心より感謝申し上げます。これまでの取り組みのまとめとして冊子を作成しました。今後は冊子も活用して、宮田村らしい支え合いを考えていく予定です。
また、昨年六月から地域支え合い推進員として村福祉課と社協職員四名を配置しました。引き続き、皆様の地域へ活動取材等でお邪魔させて頂きます。何卒、よろしくお願ひします。

平成二十九年年度
赤い羽根共同募金
結果報告

昨年十月一日から十二月三十一日までの間、皆様からご協力いただいた募金総額

一、六〇九、一九〇円

でした。

この金額を長野県共同募金会へ納入報告し、来年度一、〇七一、〇〇〇円が配分金として宮田村社協へ交付されてまいります。

一人暮らし高齢者交流会、社協報みやだ発行、福祉ふれあいまつり、福祉有償運送事業、福祉団体活動補助等地域福祉の推進に活用させて頂いたべく予定
ご協力ありがとうございました。



あたたかな
善意をありがとう
ございました。

日本発条労働組合伊那支部 様

(平成三十年一月～二月)

デイサービスだより

こんな事やっています



利用者さまの作品紹介
 福寿草 雪の中でも咲きほこる
 春なれど胸の根雪はいつとける
 春らしく陽はやわらぎ小鳥たち

宮田中学校の生徒の皆さんより、毎月、カレンダーを頂いています。カレンダーは、利用者さんの利用日の確認を兼ねて、色ぬりをして家に持ち帰り、飾ってもらっています。毎月、どんな絵を描いて来てくれるんだらうと、楽しみにされています。



実習生を受け入れて



毎年、福祉や医療学校、ヘルパー実習の生徒さんを受け入れていきます。年齢も目標もさまざまで、どの生徒さんも初日から緊張されており、利用者さんや職員も良い刺激を受けています。

介護現場をとりまく厳しさや、人材不足は、どこの施設も深刻な課題です。そんな中で将来の夢にむけ意欲的に取り組み、学ぼうとする姿は皆さん真剣です。

一人一人の利用者さんと接する事や症状や生活環境の異なる利用者さんなど、教科書や授業では学べない現場ならではの関わり方を体験されています。

調理室から食中毒について



「細菌性食中毒の発生過程と予防」

細菌性食中毒は食品に菌がつき食品中で菌が増殖し、増殖した菌を食品と共に食べる事によって発症します。

食中毒菌をつけない為に「清潔」、増やさない為に「迅速・冷却」、やっつける為に「加熱」の三原則が予防の基本です。

「ノロウイルス食中毒の発生過程と予防」

ノロウイルスは食中毒菌とは異なり、食品中では増殖しません。ですが少量でもウイルスが食品に付着し、人の体内に入ると小腸で増殖して食中毒を発症します。

予防はつけない為の「清潔」とやっつける為の「加熱」です。ノロウイルスは感染力が強く、人から人へ感染しやすい為、感染者を早期に発見しなくてはなりません。日常の二度の手洗いが大切です。

平成三十年 宮田村日赤奉仕団員の紹介

赤十字奉仕団員は、各市町村で組織され、災害時の炊き出しによる食糧の調達等災害救護に関する活動、日赤活動資金募集に関する活動、献血推進に関する活動、講習会の普及など、身近な地域において赤十字事業を支える活動を行います。

地区	氏名 (敬称略)
一 区	白鳥 弘子 細田 栄子
二 区	善積 純子 鈴木 理恵子
三 区	平井 まさ枝 新井 さゆり
北 割	手塚 直江 酒井 千廣
南 割	伊藤 真弓 世良 郁江
新 田	川原 幸子 小田 悦子
大 切	田中 美保 後藤 美代子
大 久	吉澤 まさ子 土田 恵
中 越	西山 みち子 新谷 裕子
つつじが丘	竹松 文子 酒井 昭美
大 原	有賀 節子 小松 美晴
委員長	竹松 文子
副委員長	伊藤 真弓

各地区より選出された方々です。二月二十五日に村長より委嘱書が交付され、その後宮田村における奉仕団員の任務についてや、日赤長野支部より派遣された福島朝雄氏、松崎由紀子氏を講師に迎え、模造紙やカードを使っての避難所体験ゲームを研修しました。



ミニデイだより

南割の福寿会（ミニデイ）では二月七日に、そば打ちの実演を見せてもらいました。きっかけは、ミニデイボランティアの小田切さんから「いつでもそばを打ちますよ。」の一言からでした。

流れるような小田切さんのそば打ちの様子に利用者さん達は感嘆の声しきりで、「昔はよく打ったもんだ。」「そばもうどんも打てないと、嫁として認めちゃもらえなかったに。」と話してくださいました。今日は二八そば。小田切さんからアドバイスを受けながら塊になったそば粉の感触や、のし棒でのす、包丁で切るなどを体験しました。そばの生地を薄く均等にのす難しさや、切る包丁の重さに驚かれています。

昼食には打ちたてのざるそばと温かいとうじそばを食べました。どちらもとちらもとても美味しく、皆さん大満足でした。



結婚相談員さんを集めます

宮田村結婚相談所では、四月から活動いただける結婚相談員さんを若干名募集いたします。

活動内容は、村内外結婚相談者からの相談全般を受けていただき、相談所支援員につなげていただく活動や、婚活イベントのお手伝いで、基本的にボランティアでの活動となります。

詳細についてはお問い合わせください。

ご応募をお待ちしています。
(担当：原)

古着類、古布、古シーツ 収集のお知らせ

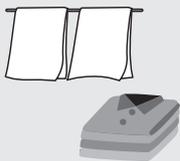
ひなたぼっこでは、デイサービス等で使用する古着類、古布を集めています。

《回収品》

- 古着類
- 古布
- 古シーツ
- 古タオル

※いずれも綿製品に限ります。

状態によっては受付できない物もありますのでご了承下さい。



お知らせコーナー

春のひとり暮らし交流会

◎恒例の交流会を行います。行き先等につきましては只今検討中ですので予定しておいて下さい。

- 期日 5月11日(金)〔予定〕
- 参加者 村内在住の方
- 参加費 3,000円位
- 定員 25名



※詳細につきましては後日案内します。

「ひなたぼっこ」の予定

3月

- ・毎週火・木曜日 健康マージャン 13:30～
- ・毎週水曜日 囲碁を楽しむ会 13:00～
- ・5日(月) 介護相談 13:30～
- ・7日(水) 男性限定！筋力アップ教室 10:30～
- ・12日(月) カメラ同友会 14:00～
- ・16日(金) 連鶴楽苑2期生修了式 9:00～
- ・19日(月) ちりめん細工教室 9:00～
- ・19日(月) 介護相談 13:30～
- ・20日(火) 男性限定！筋力アップ教室 10:30～

4月

- ・毎週火・木曜日 健康マージャン 13:30～
- ・毎週水曜日 囲碁を楽しむ会 13:00～
- ・2日(月) 介護相談 13:30～
- ・9日(月) カメラ同友会 14:00～
- ・16日(月) 介護相談 13:30～
- ・未定 ちりめん細工教室
- ・未定 男性限定！筋力アップ教室

三月・四月の行事

(三月)

- 福寿会（ミニデイ） 月々金曜日
- 配食弁当サービス 毎週月曜日
- 社協第三者委員会 9日
- ボラ連役員会 中旬
- 社協理事会・評議員会 22日

(四月)

- 福寿会（ミニデイ） 月々金曜日
- 配食弁当サービス 2・9・16・23日
- 福寿会いちご狩り 上旬
- ボラ連役員会 中旬
- ボラ連運営委員会 中旬
- 戦没者慰霊祭 25日

編集後記

一月末に行われました第三十三回上伊那ブロックボランティア交流研究会（郡ボラ）で分科会の参加者の方に感想をお聞きしていると、他市町村の活動を聞いたり情報交換や意見交換がしたいという声が多かったことがとても印象に残りました。自分たちが直面している課題や問題点を仲間と共有し解決につなげていけるような郡ボラにしたいと思えます。また、社協報でも多くのボランティア情報を発信出来ればと考えています。